

山本健造 著

病癪が良く治る

正しく分析すれば

草食瞑想と肉食闘争が分けた 深層心理

西洋の肉食闘争民族と草食瞑想の日本民族とは潜在意識が泥と雲ほど違う。病や癪を作る潜在メカニズムが、民族によって異なっている。フロイト、ユングの分析は日本民族にあてはまらない。

日本民族に即した精神分析のやさしい本だ。

学術財団 飛騨福来心理学研究所

福来出版

目次

—

10	21世紀の医学の在り方	30
9	日本民族に即した精神分析療法ならよく治る	30
8	念写原理応用の治療法は確実で遠方でも治る	29
7	正しい心理学的暗示療法なら安全で効果絶大	29
6	危険な迷信宗教の暗示療法	28
5	日本と西洋の融合の彼方に人類共通の救いがある	27
4	猿は笑うことなく恥を知らず	25
3	民族毎に特有の潜在意識がある	25
2	神話の奥に隠れたその因がある	24
1	パンツを脱いで猿になる心理学	23
	精神分析学の革命	23

二 日本神話の奥にある哲理……

- 11 日本民族に即した精神分析を樹立するために……………31
- 1 日本先祖の宇宙観をのぞく……………33
- 2 日本神話はトライアッド(三角思考)ではない……………35
- 3 日本神話はピラミッド(四角錐)思考である……………36
- 4 ピラミッド思考で科学の矛盾は解ける……………36
- 5 心霊科学と大脳生理学の矛盾はピラミッド(四角錐)思考で解ける……………37
- 6 日本神話はリグ・ヴェーダからハイゼンベルクまで貫く……………38
- 7 五神一組にまで発展している日本神話について……………39
- 8 寂空的な天御中主神……………40
- 9 トライアッド(三角形)思考の破綻について……………41
- 10 日本神話はトライアッドを越えてピラミッド(四角錐)思考……………42
- 11 日本民族の言揚げしなかつた理由……………44

12	トライアッド (三角) 思考の民主主義の危険性 (自由、平等、博愛の矛盾)	46
13	日本民族のピラミッド (四角錐) 思考の民主主義について (節由、公平、仁愛、義務)	47
14	日本の将来について義務の念のない青年たち	51
15	義務を忘れた亡国の道	52
三	八岐の大蛇退治の真相	53
1	オロチとは大蛇でなくて製鉄男だった	53
2	大和政権は飛驒政権の延長であった	55
3	スサノオの孝養の道	56
四	日本神話とギリシャ神話の比較	58
1	ギリシャ神話のペルセウスの道	58

五

- 2 フロイト派の父は龍の怪物となる……………58
- 3 日本民族の父は龍でも怪物でもない……………60
- 4 生物進化と羞恥心の関係……………60
- 5 赤子が母を慕うのは性欲ではない……………61
- 6 ギリシャ神話の破廉恥について……………62
- 7 西洋の精神分析学者の龍退治への考え方……………62
- 8 日本民族の親と子は連続し乍ら自立してゆく……………64
- 9 日本の思想の特異点は連続である(時間的)……………64
- 10 西洋の思想の特異点は切断である(空間的)……………65
- 姉弟の子生みの契いとタキリ姫の嫁入り……………67
- 1 日本神話には兄妹、親子の結婚はない……………67
- 2 日本神話は理由を述べない……………68
- 3 人類には近親婚羞恥心がある……………69

六

4	出雲国 <small>いずもくにゆず</small> 譲り事件 <small>じけん</small> の発端 <small>はつたん</small> は縁談 <small>えんだん</small> のもつれから	70
5	飛驒 <small>ひづり</small> の入口 <small>いりぐち</small> に今も残るワカヒコ事件 <small>いせき</small> の遺跡 <small>いせき</small>	71
6	日本神話 <small>にっぽんしんわ</small> には恥 <small>はじ</small> を隠 <small>かく</small> してくれる温かさ <small>あたたか</small> がある	73
7	西洋 <small>せいやう</small> の分析学 <small>ぶんせきがく</small> と日本の神話 <small>しんわ</small> の全く違 <small>ちが</small> うところ	74
8	原日本人 <small>はらにほんじん</small> は日本で進 <small>しん</small> 化 <small>か</small> した	76
9	一万年 <small>いちまんにねん</small> 前 <small>ぜん</small> 、日本人 <small>にほんじん</small> は大陸 <small>たいりく</small> へ	77
10	外国 <small>がいこく</small> からの民族 <small>みんぞく</small> を同化 <small>どうか</small> した	77
11	皇室 <small>こうしつ</small> の先祖 <small>せんぞ</small> は日本人 <small>にほんじん</small> である	78
12	二千年 <small>にせんねん</small> 前 <small>ぜん</small> はヒルメムチは太陽神 <small>たいようしん</small> ではなかつた	79
13	タカギ神 <small>ノカミ</small> とヒルメムチは父娘 <small>おやこ</small> の性的結合 <small>せいてきけつごう</small> はない	80
14	日本民族 <small>にっぽんみんぞく</small> の神話 <small>しんわ</small> は和 <small>わ</small> で貫 <small>つらぬ</small> かれている	81
1	天岩戸 <small>あまのいわと</small> 神話 <small>しんわ</small> のできる背景 <small>はいけい</small>	82
1	日本古神道 <small>にっぽんこしんどう</small> の萌 <small>も</small> える頃 <small>ころ</small>	82

七

日本の家族制度の在り方

2 天岩戸に入る意味……………82

3 天岩戸開きと天孫降臨について……………84

1 女尊より男尊へと移行した頃……………86

2 古代は末子相続制……………87

3 夫唱婦従の頃になって書いた『古事記』……………87

4 水蛭子の意味について……………88

5 ツキヨミの位置について……………89

6 日本神話には西洋の三位一体はない……………90

7 日本の世界観はピラミッド（四角錐）的である……………91

8 日本神話には最終審判はない……………92

9 日本古代人は観念的偶像を拝まないから宗教争いはしなかった……………93

	八	
	天孫降臨神話の背景………	95
1	昔の九州の内乱の様子………	95
2	三姫の九州の内偵………	95
3	コノハナサクヤ姫がウガヤフキアエズを生む………	96
4	潮満玉、潮干玉の神話の奥にあるもの………	97
5	仲直り杯、親子杯は固く後まで守られた………	97
6	日本神話、お伽話には一定の型がある………	98
	九	
	神武天皇の大和入りは予定のコース………	100
1	平和主義を貫いた二ニギ………	100
2	末子相統制の御蔭で戦争治まる………	100
3	金鷄の神話の真相………	101
4	ナガスネヒコは青森十三湖で国を建てた………	102

十 日本神話と外国神話の比較

- 1 アメノミナカヲシ 天御中主神は四角錐の頂点にあり乍ら自己主張なし 104
- 2 西洋の三角思考の頂点の神は烈しい自己主張をする 105
- 3 一神教は自然科学と矛盾している 106
- 4 聖書を護つた世界最低の迷信大学 108
- 5 日本の古神道は道德の儀式化である 109
- 6 日本の四角錐寂空志向の神話の素晴らしさ 110
- 7 一神教を内包して多神教は自然的である 111
- 8 日本の古神道には教義も排他性もなく、ただ感謝と希望あるのみ 112
- 9 日本古代神道は譲り合い、共に栄える道を探す 113

十一 ギリシヤ神話より肉食闘争民族の潜在意識を探る

- 1 人類共通の潜在意識が流れている 116
- 2 肉食闘争民族と草食瞑想民族とでは神話が著しく違う 117

16	親、子、孫三代を喰つて王位を死守する肉食鬭争民族の潜在意識	128
15	父や肉親を牢獄に投じて自ら王位につき恥ずることなき動物性	128
14	負けた肉親は罰の重労働に服す	127
13	父、子、孫の愛憎死闘を当然と認める	126
12	父を騙して味方を作り父を亡ぼす	125
11	ギリシヤ神話に初めて出てくる人間性	124
10	我が子を喰う親子三代の残酷性	123
9	大自然は羞恥心で近親姦を抑える	122
8	兄妹、親子の交合に羞恥心の起こらぬ動物性について	121
7	父の陰莖を切り取り王者となる	120
6	男根を切り取られた恨みは凶猛の子を生む	120
5	父と母が交合の瞬間、男根を掻き切る子	119
4	妻が夫の男根を切れと鎌を子に渡す	118
3	ギリシヤ神話では親子相姦が認められている	118

5	日本の先祖は勤勞の精神を貫いてきた	148
4	旧約聖書未生怨による悲劇の現実	145
3	未生怨コンプレックスの恐怖	143
2	阿闍世王の悲劇	139
1	悲劇は予言されていたと見る宿命観	137
	十二 迷信の「未生怨」コンプレックスが現代を呪う	137
22	エディプス・コンプレックスを認め、	136
21	食欲と性欲は混同してはならぬ	134
20	エディプス・コンプレックスは日本にはない	133
19	地球の温度の高い頃の天上界	131
18	ギリシャ神話の遺跡の発見	130
17	ギリシャ神話の起源はどこか？	130
	礼讚する心理学はやがて国を亡ぼす	136

	十三	自責コンプレックス(葛藤)	150
1	自責意識の心理(志向とエネルギーの窓より考える)	150	
		行為の責任はどこにあるのか	150
2	古代日本人の世界は科学的である	152	
3	古代から日本民族は内省的である	153	
4	草食民族は内省的となる	154	
5	内省は勤労につながる	155	
6	内省は自責につながる	155	
7	天の上に神を仮定する心理	156	
8	冷たく他人を責めて恥じない心	157	
9	神は汝の敵を狩猟せよと教え給う	158	
10	神は白色人種のみ作り給う	158	
11	アメリカ・インディアンも狩猟された	159	
12	ヨーロッパでは他教を信じたら殺された	160	

十四 恥はじのコンプレックスはじ（葛藤かつとう）

13	「許 <small>ゆる</small> してくれ」と謝 <small>あやま</small> れば殺 <small>ころ</small> される社会 <small>しゃかい</small> ……………	161
14	「絶対 <small>ぜったい</small> 悪 <small>わる</small> かったたのはお前 <small>まへ</small> だ」と罪 <small>つみ</small> を塗 <small>ぬ</small> りつけねば損 <small>そん</small> をする社会 <small>しゃかい</small> ……………	162
15	自責 <small>じせき</small> コンプレックス <small>はじ</small> の深淺 <small>しんせん</small> の違 <small>ちが</small> い……………	163
1	恥 <small>はじ</small> の心理学的 <small>けんとう</small> 検討……………	165
2	時間 <small>じかん</small> 、空間 <small>くわんかん</small> の認識 <small>にんしき</small> と生理学 <small>せいりやく</small> 的 <small>てき</small> 根拠……………	166
3	外国 <small>がいこく</small> の謀略 <small>ぼうりやく</small> に洗脳 <small>せんのう</small> されると恥意 <small>はじい</small> 識 <small>しき</small> が消 <small>け</small> える……………	168
4	未熟 <small>みじゆく</small> 青少年 <small>せいねん</small> は煽動 <small>せんどう</small> されて躍 <small>おど</small> る……………	168
5	未熟 <small>みじゆく</small> な青年 <small>せいねん</small> が死刑 <small>しけい</small> になつても煽動 <small>せんどう</small> 者 <small>しや</small> は恥 <small>はじ</small> を知ら <small>し</small> らず……………	169
6	人間 <small>にんげん</small> がパンツ <small>ぱんつ</small> を脱 <small>ぬ</small> ぐと悪魔 <small>あくま</small> になる……………	169
7	大和民族 <small>たいわんみんぞく</small> の恥意 <small>はじい</small> 識 <small>しき</small> の段階 <small>だんかいはい</small> について……………	170
8	西洋 <small>せいやう</small> の恥 <small>はじ</small> の文化 <small>ぶんか</small> について……………	173
9	一神教 <small>いつしんきやう</small> の平等 <small>びやうどう</small> 思想 <small>しやうしやう</small> より来る <small>くる</small> 無恥 <small>むち</small> の心……………	174

10	上下の道徳の恥について……………	174
11	平等の線に出てくる厚顔無恥……………	175
12	搾取も封建制もない論理……………	176
13	恥のコンプレックス(葛藤)……………	176
14	薩摩義士の責任と雪辱の切腹……………	177
15	平重盛忠孝のコンプレックス……………	180
16	透視能力者御船千鶴子の恥のコンプレックス……………	182
17	世界最初の念写能力者長尾郁子の恥意識……………	184
十五	朝鮮民族の潜在意識を探る……………	188
1	天子垂直降下型神話である……………	188
2	朝鮮民族は草食瞑想民族で山より降下した……………	189
3	それでも人肉を公然と食べた……………	190

十六

中国民族の潜在意識を探る

- 1 中国神話の背景にあるもの……………192
- 2 卵から生まれた巨人の死骸が大地となる……………193
- 3 宇宙の混乱を救う神……………194
- 4 中国人の宿命観……………194
- 5 人類終末説と近親婚忌避……………195
- 6 西洋と東洋の近親婚に対する差……………195
- 7 中国人の肉喰いの記録……………196
- 8 不意打ちに備える緊張が語順を変え……………197
- 9 中国皇帝の三分の一は自殺か暗殺であった……………198
- 10 政情安定すれば皇帝在位平均年数三十五年……………199
- 11 世が乱れると在位平均年数は十年……………199
- 12 日本紀元と西紀はほぼ同じ……………200
- 13 中国は日本の二十一倍の暗殺、自殺率である……………200

14	いつかは来る肉食闘争民族の運命……………	201
17	インド民族の潜在意識を探る……………	203
1	肉食闘争民族もインドでは瞑想民族となった……………	203
2	世界の言語の分布より古代人の生活を探る……………	204
3	インドの宗教の概要と神話との関係……………	206
4	英雄讃歌のインドラ……………	206
5	黄金の卵より生まれる神……………	207
6	六次元原理を暗示する原人プルシャ神話……………	208
7	神秘を解く六次元論のヒント……………	210
8	四つの地獄穴のどれか一つに落ちる……………	211
9	四律背反の迷い……………	212
10	空間的思考は唯物とドッキングする……………	213
11	時間的思考は唯心とドッキングする……………	213

25	インドの輪廻転生説の歴史	227
24	輪廻転生はヒンズー教の専売	226
23	釈迦は前生を語らず	225
22	釈迦は般若心経に泣いている	225
21	釈迦、孔子は輪廻転生を説かなかった	224
20	輪廻転生は本当にあるのか？	224
19	インドの英雄の最期の在り方	222
18	汚い老人を主人として貞操を貫く王女	221
17	賭博のルールを守った王の無抵抗主義	221
16	リグ・ヴェーダの原理は量子論と合致する	218
15	プルシヤの讃歌が密教のマンダラの中に生きている	215
14	経典読みの経典知らず	215
13	四律背反と二律背反の關係	214
12	再び四律背反の迷い	214

26	輪廻転生とは一体何か……………	227
27	輪廻転生を哲学者達は どう見るか……………	228
28	六次元哲学では生まれ変わりを どう見るか……………	228
29	意識への念写、肉体への念写はあり得る……………	229
30	両親の遺伝子を無視した生まれ変わりは ない……………	230
31	因果応報と再生の要求について……………	231
32	奥飛騨の殺人迷宮入り事件……………	231
33	生前の地獄について……………	232
34	死後の地獄について……………	232
35	死後の法則による清算……………	233
36	自己の行為の責任は死後の霊界まで持ち越す……………	234
37	縄に縛られて痛い痛いと呼ぶ男……………	235
38	生きている中に心の浄化をせよ……………	236

十八 ゲルマン民族の神話について……………237

1 ゲルマン民族のあらまし……………237

2 ゲルマン民族の創世神話……………238

3 三人一組の戦闘で国を開く……………239

4 戦死者の霊を祀る心……………240

5 知恵を求める情熱を語る……………240

6 文字を尊ぶ心……………241

7 詩を讃える心……………241

8 不老不死のリンゴの実……………242

十九 一神教の聖典と世界、日本への影響……………243

1 一神教の基はモーゼの十戒より始まる……………243

2 日本ではキリストも釈迦も青森で死んだと出鱈目を説く牧師たち……………244

3 一神教は世界に戦争を起こし続ける……………245

二十

4 布教の為なら嘘をついても神は許し給う……………246

5 伊勢神宮の石灯籠のユダヤ紋章は進駐軍の命令で作らせた……………246

6 徳川時代の隠れ切支丹の遺物を利用して嘘をつく牧師の罪重し……………247

7 陸軍大将や博士も騙された……………248

1 一神教と多神教の統一の彼方に真理と永久平和がある……………249

2 草食瞑想民族の長所と短所について……………249

3 戦後の日本国民の思想国難……………250

4 日本民族は内なる一神教を取り戻せ……………251

5 外に向いた一神教の冷酷さ……………252

6 西洋の一神教よ、内面に帰れ……………253

7 混乱日本思想と一神教の終局の一致点……………255

11	②	力的偏向	273
10	①	志向的偏向	273
9		新實在論の完成されたものとしての六次元實在論	271
8		森羅万象の認識判断の基準としての六次元弁証法	269
7		超物理現象は感応無意識論で初めて解ける	268
6		飛驒に起こった幽霊事件	267
5		共時性の問題	266
4		潜在意識の科学的発見は福来博士である	265
3		迷信より生まれる人生破壊の葛藤	261
2		人間らしい正しい倫理的葛藤	259
1		フロイトはなぜ独断に陥ったか	258
		ユングも汎性欲説に墮し倫理性を危うくす	256
		最後のまとめ	256

